

和歌山交通公園リニューアルプロジェクト



現状・課題

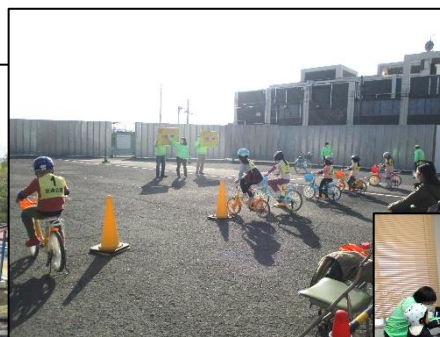
- 和歌山交通公園は、年間約10万人の皆様にお越しいただいておりますが、1975年の開園から約50年が経過し、園内施設や遊具、交通学習設備である信号機などの老朽化が進んでいます。
- こどもたちの交通安全意識の向上に資する学習の場としての役割を担っており、時代に応じた内容や設備の更新が求められています。
- また、少子化やライフスタイルの変化により、公園の利用形態も変化しており、より魅力的で利用しやすい公園設備が必要となっています。

取組

交通事故“ゼロ”へ



- 交通安全学習機能の充実
 - ・信号機や道路標識を再整備するとともに、交通安全教室の開催等によりこどもたちが楽しみながら実践的に交通ルールを学べる機会の充実を図ります。
- 安全で魅力のある公園に向けた公園遊具のリニューアル
 - ・老朽化した遊具や信号機などの園内施設について、安全性の確保と魅力向上の観点から更新や修繕を行い、安心して利用できる公園環境を整備します。
- 地域と連携した交流機能の強化
 - ・公園を地域住民などが交流できる場所として、交通安全教室やイベントを実施します。



寄附金の使途

- 園内施設・遊具の更新及び安全対策に係る費用
- 交通安全学習設備（信号・標識・コース等）の整備費
- 公園の魅力向上及び利用促進に係る広報・企画費 など

